

教員名	佐藤公俊	所属学科	地域政策学科
<p>【ゼミでは何を学ぶのか】</p> <p>ゼミの研究領域は公共政策、政策過程です。地域社会、自治体、国などが抱えている公共問題を発見・分析し、解決方法を提示する、というスタイルで研究を進めています。取り上げるテーマはコミュニティ・サイクル、生活保護、集団的自衛権などさまざまです。</p>			
<p>【どのように学ぶのか】</p> <p>○ゼミの基本的内容</p> <p>ゼミは1学年12人前後で、基本的には3学年一緒に活動しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生は7月から6人一組のグループを組んで研究を行い、11月初めに行われる三扇祭のプレゼンテーション大会に出場します。12月にはゼミ内でテーマ・スピーチを行います。 ・3年生は4月から10月にかけてディベートを行います。基本的には4人一組のグループを3つ作って活動し、10月には他ゼミと3試合を行っています。それと並行して、4月から6月にかけて個人研究のプレゼンテーションを行います。さらに、6月から4人一組のグループを3つ作り共同研究を行っています。12月に行われる他大学と合同の研究発表会で研究報告を行うと一年が終わります。 ・4年生は4月から卒業論文を書き始め、12月に行われる他大学と合同の研究発表会で中間報告をし、2月の卒論発表会がゴールとなります。その他に、2、3年生の指導をします。 <p>○ゼミの特徴</p> <p>ゼミは基本的にはアウトプットの場であり、常に研究報告、テーマ・スピーチ、ディベート、グループ・ディスカッションなどを行っています。9月にはゼミ合宿を行います。また他ゼミ、他大学との交流に力を入れており、学内の他ゼミと年に3、4回ディベートをしています。さらに12月には他大学との合同ゼミ合宿を行います。グループ・ワークの多さと学年の垣根がないことが一番の特徴です。</p>			
<p>【学んだことはどのように生かせるのか】</p> <p>名案は思い付いただけでは意味がありません。ゼミで行っている活動は、名案を実現するための技法を身に付けることです。知識よりも技法を重視しています。ゼミで学んだことはどの職種でも役に立ちますが、公務員や金融・保険などの業種に進む卒業生が比較的多くなっています。</p>			
<p>【おすすめの入門書・基本テキスト】</p> <p>小川洋子『博士の愛した数式』、上橋菜穂子『鹿の王』、國分功一郎『近代政治哲学—自然・主権・行政』</p>			
<p>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</p> <p>漫画を読む、バイオリンを弾く、料理をする、泳ぐ、おしゃれをする。どれも楽しいことですが、技術や作法が身に付いていなければ楽しめません。研究も同じです。技術や作法が身に付けば、研究は漫画や料理と同じように楽しいものです。</p>			